

全市放射線量測定マップ（平成26年3月3日～20日実施）

【この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1/50,000地形図を複製したものです。（承認番号 平23 東環、第118号）】

1 全市放射線量測定マップ作成にあたって
平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故から3年が経過した本市の環境放射線量の状況を市民の皆さんにお知らせするため、「全市放射線量測定マップ」を作成しました。
また、全市放射線量測定マップの作成を開始した平成23年6月以降の各地区における平均環境放射線量の推移は下表のとおりです。

各地区の平均環境放射線量の推移表 (単位: $\mu\text{Sv/h}(\%)$)

地区	H23年6月	H25年3月	H26年3月	H23年6月との増減率	H25年3月との増減率
中央	1.59	0.51	0.32	△79.9%	△37.3%
渡利	2.23	0.86	0.52	△76.7%	△39.5%
杉妻	1.17	0.34	0.22	△81.2%	△35.3%
蓬萊	1.55	0.52	0.30	△80.6%	△42.3%
清水	1.80	0.51	0.36	△80.0%	△29.4%
東部	1.60	0.77	0.48	△70.0%	△37.7%
大波	2.24	0.97	0.65	△71.0%	△33.0%
北信	1.43	0.53	0.36	△74.8%	△32.1%
吉井田	1.19	0.40	0.28	△76.5%	△30.0%
西	0.63	0.29	0.21	△66.7%	△27.6%
土湯温泉町	0.26	0.14	0.08	△69.2%	△42.9%
信陵	1.63	0.59	0.43	△73.6%	△27.1%
立子山	1.76	0.81	0.51	△71.0%	△37.0%
飯坂	1.05	0.56	0.40	△61.9%	△28.6%
茂庭	0.33	0.16	0.11	△66.7%	△31.3%
松川	1.16	0.69	0.42	△63.8%	△39.1%
信夫	0.91	0.40	0.28	△69.2%	△30.0%
吾妻	1.15	0.41	0.31	△73.0%	△24.4%
飯野	1.58	0.75	0.49	△69.0%	△34.7%
全体平均	1.33	0.56	0.37	△72.2%	△33.9%

2 環境放射線量の現況
長期的な目標とする追加被ばく線量が年間1ミリシーベルト以下（注1）となる時間当たりの環境放射線量は、毎時0.23マイクロシーベルトです。この値以下の地区は杉妻・西・土湯・茂庭地区等で観測されています。
（注1）放射性物質汚染対処特別措置法に基づく基本方針による目標値。

3 環境放射線量の低減状況
平成25年3月時点では平成23年6月測定値と比較して、57.9%の低減となっておりましたが、本年（平成26年）3月時点では、72.2%の低減となっております。
これらの低減要因は、放射性物質の物理学的減衰（放射線を出すことによる放射性物質の減少）やウエザリング効果（雨風などの自然現象による放射性物質の移動）、除染の実施によるものです。

4 測定データの閲覧
今回の測定データは各支所でも閲覧できます。また、本年（平成26年）6月からは、市のホームページにも掲載いたします。

5 測定内容
(1) 測定期日：平成26年3月3日(月)～20日(木)
(2) 測定機器：空間線量計 [NaI(ソリッド)シンチゲイター (TCS-172B)]
(3) 測定方法：①居住地：500m四方 909 区画
山間地：1,000m四方 11 区画
合計 920 区画 (3,292 地点)
※居住地・耕作地等の地面特性を考慮し区画内を測定
②測定の高さ：1m
③区画内の測定値：区画内の3地点を選定しそれぞれ5回計測
(4) 測定値の採用値：1地点あたり5回計測した平均値

